

運動会も無事に終わり、めっきり秋らしくなった気候のなか2か月ぶりのお茶のおけいこは、これまでに習ったことの復習が中心でしたが、お道具の名前もしっかり覚えていましたよ！

次回はいよいよ“お茶を点てる”おけいこです。また、新しいお道具も教えてもらいます。楽しみですね！

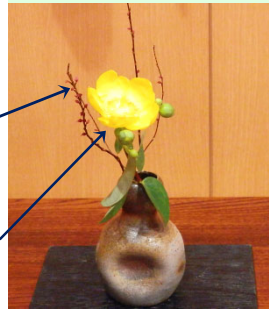
10月のお菓子



・ハロウィン

・ススキ

10月のお花



・みずひき草

・キンシバイ



総礼をして、おけいこが始まります

お運びさん



わの方を前にして左の腰につけます



菓子器は、両端をしっかりとちまます



菓子器をもったまますわります



左手(古帛紗)をお皿にして右手でお茶碗をしっかり持ちます



お茶どうぞ

お客さん



菓子器に左手をそえてお菓子は遠い所から取ります



お菓子をいただいたら、お懐紙を2つに折ります



お茶ちょうだいします



お茶を点ててくれた人、運んでくれた人に感謝しましょう

*豆知識—お茶の歴史(1)「お茶のものは中国」

お茶を飲む風習がはじめて伝えられたのは、奈良時代といわれています。そのころは団茶というお茶の葉をつき固めた“だんご”のようなものでした。

平安時代の終わりごろ中国の宋に渡った栄西という僧侶がお茶の実を持ち帰り、日本に広まっていったそうです。

栄西は、お茶を飲んで楽しむだけでなく、病気に効く薬だと時の将軍 みなもとの さねとも 源実朝に献上し、武家の間に広まり始めました。又、商人の間にも広まっていったようですが、当時ではぜいたくな遊びと考えられ、お茶の産地や茶名を当てたりして楽しまれていたようです。

今回は、茶道の始まりへと続きます。